

# 川崎市大山街道ふるさと館 令和3年度第2回企画展

## 絵図

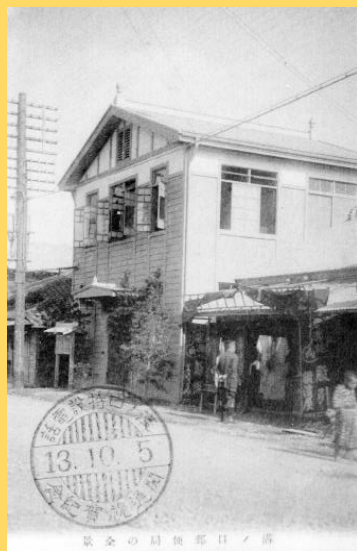
## 絵葉書 雑誌

## にみる

# 高津

6月18日(金)~9月26日(日)開催

江戸時代から高津各地の風景は、絵画や写真などによって外の地域へと発信され、多くの人々を呼び集めてきました。今回の企画展では、そうした高津の様子を写し伝えてきた資料を通して地域の歴史を紐解いていきます。



↑七面山(溝口にある丘)からの眺め

[大正13(1924)年頃]

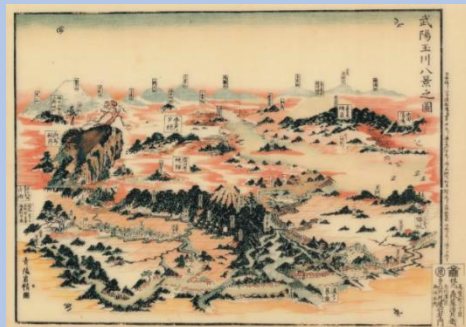
←溝ノ口郵便局

[大正13(1924)年頃]

### 溝ノ口特設電話開通 祝賀記念絵葉書(左の2点)

[大正13(1924)年発行]

溝口に電話線が開通した際の記念絵葉書です。交換所は当時の郵便局の2階に設けられていました。



**武陽玉川八景之図** [寛政3(1791)年出版] 登戸・喜多見から瀬田・溝口までの多摩川両岸各地の名所を描いています。

### ○江戸~明治 江戸っ子ツーリズムと二子・溝口

江戸時代以降、現在でいうところの観光パンフレットのようなものが多く出版され、流通するようになっていきました。寛政3(1791)年に溝口の丸屋が販売した「武陽玉川八景之図」には「綱下松」や「二子の渡し場」など、溝口周辺の様々な名所が絵図の中に描かれています。

### ○昭和 東京都心と行楽地高津

昭和12(1937)年4月発行の「アサヒグラフ」には、当時、溝口で経営されていた東京の都市住民向けの貸し出し農園の様子が報じられています。「週末農園」と題されたこの記事からは、当時の高津が都心から離れた行楽地という側面を持っていたことを伺い知ることができます。

### ○大正~昭和初期 二子橋と都市化する高津

大正14(1925)年の二子橋完成は、二子・溝口に多くの人を呼び込むこととなりました。特に玉川電気鉄道が多摩川を渡り、溝ノ口駅まで開通した昭和2(1927)年以降、二子三業地をはじめとする新しい観光が発展していくこととなります。この時期の高津の様子を、当時発行された記念絵葉書が現在へと伝えていきます。

#### 開催情報

期 間：令和3年 6月18日(金)~9月26日(日)

時 間：午前10:00~午後5:00

場 所：川崎市大山街道ふるさと館 展示室

入場料：無料

### 企画展記念講演会「行楽地としての多摩川-玉電・花見・音頭-」

講師：鈴木勇一郎氏(川崎市市民ミュージアム学芸員)

日 時：7月10日(土) 10:00~12:00 募集開始：6月10日(木)

定 員：30人

参加費：500円

応募方法：電話・FAX・窓口にて先着順で受付

※裏面参照

主催

川崎市大山街道ふるさと館

川崎市高津区溝口3-13-3

TEL:044-813-4705

FAX:044-712-0034



ふるさと館HP